

## 第1回匝瑳市男女共同参画推進委員会 会議結果概要

- 開催日時 平成29年10月21日（土）午後1時30分から午後2時20分まで
- 場 所 匝瑳市立八日市場公民館 集会室
- 出席委員 石田昇、伊藤和子、大木幸恵、角田洋子、向後英夫、作佐部正彦  
椎名和子、田邊久利、宮内孝子（9名）  
（欠席：石井初枝、小川雅章、押尾悦子、越川政子）
- 市出席者 （特別職）太田市長  
（事務局企画課）大木課長、江波戸主査、土屋副主査

発言者	内 容
	<p>1. 開 会</p> <p>2. 委嘱書交付</p> <p>3. 市長あいさつ</p> <p>4. 委員自己紹介</p> <p>※資料1 委員名簿順に自己紹介</p> <p>※事務局紹介</p> <p>5. 議 題</p> <p>（1）委員長・副委員長の選出について</p> <p>事務局 匝瑳市男女共同参画推進委員会規則第5条の規定により、委員長及び副委員長は委員の互選より定めるとあるが、いかが取り計らったらよいか。</p> <p>委 員 事務局案はあるか。</p> <p>事務局 事務局案として、委員長を向後委員に、副委員長を大木委員にお願いしたいと思うが、いかがか。</p> <p>委 員 （異議なし）</p> <p>事務局 向後委員、委員長をお受けいただけるか。</p> <p>委 員 お受けする。</p> <p>事務局 大木委員、副委員長をお受けいただけるか。</p> <p>委 員 お受けする。</p> <p>（2）第2次匝瑳市男女共同参画計画について</p> <p>※事務局から資料3及び資料4に基づき説明</p> <p>《各委員からの質問・意見》</p> <p>委 員 資料4の指標一覧に「夜間パトロールの実施」とあるが、これも推進委員</p>

	活動として行ってよいのか。
事務局	該当の指標については、担当課が環境生活課となっており、防犯協会の活動のことを指している。
委員	資料4の指標一覧に「特定健診の受診率60%以上」とあるが、かなり高い目標設定だと感じる。現状の受診率はどうか。
事務局	現状、30数%である。目標値は、国が定めた目標値に合わせ、60%としている。
事務局	質問に限らず、御意見も伺いたい。
委員	推進委員会の開催予定回数と、内容について伺いたい。
事務局	本日が第1回目の委員会であるが、年度末にもう1回実施を考えており、年2回程度開催していく予定である。委員会の内容としては、第2次男女共同参画計画で指標とした25項目について各課の取組み状況を企画課で取りまとめ、委員会へ報告するので、進行が図れたか否か検証いただきたいと考えている。委員の任期は2年間で、来年度以降も基本的な進め方は同様の予定である。
委員	市民意識調査の結果が計画書に記載されているが、調査はいつ実施したもののか。
事務局	調査は、平成26年1月に無作為で抽出した市内在住の男女2,000人を対象に実施し、同年6月に報告書に取りまとめた。
委員	この委員会で何をしたらよいのかよくわからない。
事務局	まず第一は、第2次男女共同参画計画の指標25項目について、進行が図れているかチェックしていただくことだと考えている。
委員	チェックはどのように行うのか。次回会議で資料を手渡されても、実際には見えていない事業を、配布された資料だけでチェックができるのか。 千葉県男女共同参画地域推進員会議という県の組織では、東総地区から大網白里市あたりまでを海匝・山武地域という1つのグループにして活動している。各市町1～2名程度の地域推進員がおり、月に1回程度集まって、男女が住みよい社会を作るにはどうしたらよいかということについて、情報交換や意見交換をしている。男女共同参画という考えは、まだ皆さんに広まっていないが、どのように広めていけばよいかと考え、活動している。この委員会でもそのような話し合いになるのかと思っていたが、委員会の目的が違うような気がしている。
委員	おっしゃるように、チェックだけでは意味がない。資料を見て行うのは誰でもできる。この委員会にはそれぞれの分野の方が集まっている。委員会でもできることに限りはあると思うが、市役所の中でできることを委員が行う必要はないと思う。委員としての権限はあまりないと思うが、その中で何ができるのか、また、何をしたらよいのか全くわからない。
事務局	資料2として本委員会の規則をお配りしているが、第2条に本委員会の目的を3点挙げている。第2項が事務局から委員会の目的として御説明した計

	<p>画の進行管理であるが、ただ今委員の皆様から指摘のあった事項は第3項男女共同参画社会の形成の促進に関する事に当たると思う。事務局ではこのことについて、具体的な取組み案を持ち合わせていないが、委員の皆様との話し合いで、方向性を見出していければと考えている。</p>
委員	<p>前回の活動の成果は挙がっているのか。目に見える変化はあったのか。</p>
	<p>私は、空手の団体を30数年続けており、男女共同参画というテーマを聞いて、まず最初に思ったのが、男女の差別があるのではないかと、ということで、委員に応募した。私個人の意見としては、体力的なことは別にして、仕事や教育、その他の分野で男女に差はないと感じている。その点からいえば、男女平等という考えは根付いてきているはずだが、匝瑳市では、地域性もあるのか、未だに男女の差別があるように感じる。</p>
	<p>そのような課題が事前に拾い出されており、それらをどのように改善するのか、検討するのに携われるのではという気がしていた。身近な課題だと、自分としても活動しやすい。</p>
	<p>進行管理のチェックには、委員会は関係ないのではないかと。また、各指標の担当課は多岐に渡り、チェックするのが大変だと思う。</p>
委員	<p>市民意識調査で市民の意識を調べ、目標に対する達成度を測るのは必要だと思う。しかし、男女共同参画推進委員会として会議を設けているからには、男女共同参画という言葉だけでもよいから市民に知らせていくのが委員としての仕事かなと思う。今日3時から行う落語の講演会も、男女共同参画の要素を少しでも入れ込んでもらえたら、参加者に広める機会になる。匝瑳市はじめこの地域一帯では男女共同参画という言葉を広めるだけで精一杯の状況だと感じている。講演会の参加者に「男女共同参画ってこういうことなんだ」と日常のふとした場面で気付いてもらうようにするのが委員の仕事だと思う。講演会でも、その他のイベントでも男女共同参画を啓発する機会をたくさん設けていくべきだと思う。また、そのようなイベントに知り合いを誘うのも委員としての活動になるのではないかと考えている。</p>
	<p>事務局から提案のあった進行管理のチェックは、委員としての活動内容とは全然違うと私も感じる。企画課が行うイベントに委員として協力するなど、大それたことでなくても啓発のために私達委員ができることはあると思う。これから2年間の活動の中で、何かできることが見つければよいと思う。</p>
事務局	<p>男女共同参画という言葉だけでも広めたいという御意見があったが、本日の委員会については、後日会議録をホームページで公表し、広く知らしめていきたいと考えている。公表の是非については、後程お諮りしたい。</p>
	<p>資料4のパンフレットは、回覧で各家庭にも配られた。自分が関係しているので気に留めて見たが、お役所的な文章は表現が難しく、一般の人の目には留まらない。もっと簡単なチラシがあるとよい。何かのイベントとタイアップして、そのチラシを配ってはどうか。</p>
委員	<p>ソーサマンにタスキを掛けて啓発してもらってはどうか。</p>

委員	<p>最近、ホームページで見てください、というものが多いが、ホームページは見られる人（年齢層）が限られるので、簡単なチラシを作って回覧として配ったほうがよい。男女共同参画は、若い世代では教えなくてもそれが意識の中に入っているが、私達以上の年代になると、頭でわかっているけれども行動できない、どういうものかわからない、平等と参画は違うということもわからない、という方が多いと思う。そういうものを回覧形式で広く市民の皆さんにお知らせすると意識が広まるように思う。</p> <p>海匝・山武地域の男女共同参画地域推進員会議では、新聞を作って啓発運動をしている。しかし、新聞一つでもなかなか受け取ってくれない。男女共同参画を面白くお伝えする方法があれば、啓発につながると思う。</p>
事務局	<p>この委員会で啓発のチラシを作り、配布するのもよいかと思う。</p>
委員	<p>男女共同参画なんて意味がない。私が知っていても旦那が知らなければそれまで。</p>
委員	<p>資料をよく読み、勉強しておく。</p>
委員	<p>昨年の成果を申し上げておきたい。企業は数字で結果を評価せざるを得ないが、自分が委員になってから、計画に数値目標を入れ、誰の目にも成果がわかりやすいようにした。その上でどのような PR がよいのかという話になるが、男女共同参画という言葉だけを広めてもほとんど効果はないと思う。先程チラシがよいという意見が出ていたが、50代以上の方には効果があると思うが、それ以下の年代は紙媒体では効果がないと思う。別の場で同じ提案をして、紙媒体以外のほうがよかったという結果になったこともある。新聞を取る家庭も少なくなってきた、若い世代では本もスマートフォンで読んでいる。目的に合わせて効果がある方法を選んで行くと時間もお金も掛けずに PR できるのではないかと考える。</p> <p>指標の中で一点残念なのが、ひとり親家庭の問題である。これまでは、女性メインで考えられた施策が多かったと思うが、最近は、男性が一人で育てることも多くなってきた。企業内でもそのような事例が実際に出てきており、男性向けの施策が少ないという話が出た。指標「子育て女性向け再就職セミナーの実施」と対象を女性に限定していることは残念だと思う。企業内にも幼稚園生と小学生を父親一人で育てている男性がいるが、何かあるとすぐに迎えに行かなければならないというので帰す。そのような状況にある男性の中には、会社にいられなくなってしまう男性もいると聞く。男性が一人で育てるというケースもあることを考慮したほうがよいと思う。</p> <p>現代は、男性か、女性かということ自体も考慮しなければならないという世の中になってきた。</p> <p>一人でやれる力は少ないが、団体の代表として参加されている委員の皆さんには、会議の結果を持ち帰って広めるということも重要だと思う。男女共同参画は大きなテーマではあるが、持ち帰って少しずつでも広める努力が必要なのではないか。</p>

<p>委員長</p>	<p>本日委員から出た提言や御意見について事務局で検討してもらい、よりよい会議にしていきたい。</p>
<p>事務局 委員</p>	<p><b>(3) その他</b></p> <p>《各委員からの質問・意見》</p> <p>本日の会議録については、市のホームページで公表を予定しているがよろしいか。なお、公表の際に意見の発言者については、「委員」と表示する。</p> <p>(異議なし)</p> <p><b>6. 閉 会</b></p> <p style="text-align: right;">以 上</p>